

神戸新聞

夏休み「ミニ博物館」開設

鉄の不思議 見て触れて

国内外の砂鉄や鉱石

姫路の地場産業・鎖のメーカー「衣川製鎖工業」(姫路市飾磨区阿成渡場)で、社長の衣川良介さん(63)が、夏休みに合わせ、会社の一角を「『むらの鍛冶屋』鉄のミニ博物館」として開放している。国内外の砂鉄や鉱石に触れたり、磁石を近づけたりして、鉄の不思議を学ぶことができる。(広岡磨瑛)

衣川さんは家業の鎖づくりを営む。さらに、子どもくりに携わる中で原料の鉄や鉱物を実際に鉄の性質に興味を持ち、見て触ってもらい、探求三十年余り、各地の砂鉄心を深めてもらおうと、や磁気を帯びた鉱石を収めた「ミニ博物館」を開設。関連書籍を読みあさり、市内のほか神戸からも親子連れが訪れた。

これまでの経験や知識を生かし、ホームページや情報紙などで鉄の魅力。昨年以降は今年も開

姫路の鎖メーカー「衣川製鎖工業」



鉄の不思議を体験できる「鉄のミニ博物館」姫路市飾磨区阿成渡場

「隕鉄」や、数十億年前の化石「ストロマトライト」など貴重なものから、使い切りカイロなど日用品まで、教材は約百点。国内外二十力所から集めた砂鉄もある。

衣川さんは「子どもたちにとって、実際に触って学ぶのは大切なこと。鉄の不思議を体験してほしい」と話している。

無料だが予約が必要。三十一日まで。衣川製鎖工業 ☎079・234・1515



☆ 大人も楽しめます。是非、あなたもお近くに来られた際にお立ち寄りください。子供達の夏休みには関係無く、いつでもOKです。(要 予約)

衣川良介